



YouTube

動画配信

小西洋之 政治チャンネル
(ここにたんチャンネル)チャンネル登録
お願いします！

参議院議員

発行元：小西ひろゆき後援会

〒260-0012

千葉市中央区本町2-2-6

パークサイド小柴102

2026年特別号

小西ひろゆき

ともに生きる社会を 

温かいご支援に、心より御礼を申し上げます。

特別国会より、立憲民主党の厚生労働部会長、外交・安全保障調査会長、憲法調査会長を務めております。

超高齢化、人口減、財政危機などの構造問題に対処し、ポピュリズムや分断を排して、国民・国家を救うための政策、政治の実現のために全力を尽くします。 参議院議員 小西洋之

厚生労働部会長、厚生労働委員会筆頭理事として



本会議代表質問



厚生労働委員会（提案者答弁）

特別国会では、立憲民主党の厚生労働部会長と厚生労働委員会の野党筆頭理事を務めました。

計6本の閣法を処理し、その全てに、私が起草・調整した附帯決議を付けることができました。

健康保険法改正では、自民・維新政権下の急遽の財源捻出のために行われた高額療養費の限度額引き上げについて、①高額療養費は公的医療保険の中核制度であり、憲法25条の生存権に基づくものという初めての政府答弁を引き出した上で、②WHOの「破滅的医療支出」に陥る家計が生じること、③医療財政的にも他の適切な手段があることの論証を行いました。

そして、それらの内容を盛り込んだ修正案（議員立法）を参院に提出し、答弁者を務めました。

更には、OTC類似医薬品の保険外適用の条文について、これが、医薬品のみならず、診察、治療、入院、看護など健康保険法第63条の全ての「療養」が厚労大臣の告示のみで保険外適用にできるとする答弁を「立法事実」の追及により全面撤回させ、国民皆保険制度を守りました。

また、2040年問題等を見据えた「令和版社会保障と税の一体改革」の必要性を本会議等で繰り返し、総理や厚労大臣に訴えておりますが、信念を持って取り組んで参ります。



厚生労働部会

千葉豪雨への対応

8月13日に発災した「千葉豪雨」は、記録的な短時間集中豪雨により、各地で内水氾濫や河川洪水などを引き起こし、多数の死傷者、倒壊・浸水家屋、水没農地、被災車両などの甚大な被害をもたらしました。

発災後直ちに被災現場に入り、①施設への進入路が水没し孤立した養護ホーム（茂原市）への国交省のポンプ車両の派遣、②被災車両のレッカー車の全国支援の確保、県道83号（山田台大網白里線）の被災車両の移動の調整を契機に、国・県が市町村の被災車両の移動支援を行う枠組みの構築、③浸水家屋への災害専門ボランティア派遣の仕組みの構築支援などに取り組みました。

道路、河川等の公共インフラ、農地、福祉施設等の復旧等々の支援のため、引き続き、全力で取り組みます。



茂原市（養護施設のポンプ車） 大網白里市（市長室）

ホルムズ危機への対応

ホルムズ危機に際して、私は一貫して、欧州諸国とは異なりイランと伝統的な友好関係にあり、かつ、米国と友好国・同盟国にある日本が米国とイランの和平仲介に主体的な役割を果たすべきと訴えて参りました。これは、中東に9割以上の原油を依存する「日本の生存戦略」そのものであるはずで

私の予算委員会での高市総理に対するこの訴えを受けて、駐日イラン大使の求めにより行った会談では、「日本とイランとの協議によって日本のタンカーが航行できる」とのイラン政府の見解を確認し、大きな反響を呼びました。



4/17 セアダット駐日イラン大使

ERIA議連



7/3 官房長官への申入れ



6/11 議連総会

超党派のERIA(東アジア・アセアン経済研究センター)議連では、東アジアやASEANでのイノベーションにおける日本の関与を強化するための私のERIAのプラットフォーム機能強化の政府提言が採用されました。

出前こにたん



5/18 BS-TBS 報道1930



6/18 りっけんユース

常日頃の温かいご支援、叱咤激励に心より御礼を申し上げます。

各種催し物や勉強会の講師など千葉県内外を問わず、気軽にお声掛け下さい！

主演ドキュメンタリー映画「テレビ、沈黙。」の上映会も少人数から気軽にご相談下さい。

憲法改悪阻止の闘い



5/24 NHK日曜討論

総選挙以降、憲法改正の動きが強まっています。

参院緊急集会(54条)が使い物にならないという暴論が根拠の「議員任期延長の改憲」に対しては、

2023年以降、参院憲法審の論戦で改憲派を衆参で分裂させる等しています。今国会でも、「衆院憲法審の緊急事態条項のイメージ案」(5/14)に対して、参院憲法審では、憲法学者の召致、参院法制局長の陳述、更には、国民投票法審議の際の私の質疑によって改憲派のリーダー議員を徹底的に論駁しました。

また、国民投票法改正案には、肉を切らせて骨を断つ戦略で臨み、CM、資金、ネット規制の抜本改正などを確実にする附帯決議を成立させました。

日本学術会議 開示請求訴訟



3/27 司法記者クラブ

日本学術会議会員の任命拒否を行うために政府が作成した違法解釈の内閣法制局審査資料が「墨塗り開示」された事件の控訴審判決があり、一審に続いて全面勝訴となりました。

開示請求で、内閣法制局の審査資料が墨塗りされたのは、戦後初めてであり、これがまかり通るなら日本の法の支配は崩壊してしまいます。最高裁でも勝訴できるよう全力を尽くします。

【ご寄付のお願い】

小西洋之の「活力ある共生社会を創る」「民主主義と法の支配を守る」ための信念に基づく政治活動をお支え下さい。

皆様の善意を頼りに少額のご寄付が大きな支えとなっております。宜しくお願いいたします。

※ ご寄付の方法はHPに掲載しております！



小西ひろゆき プロフィール

- 1972年生まれ
- 東京大学教養学部 卒業
- コロンビア大学 国際公共政策大学院修了
- 総務省・経産省 課長補佐
- 東京大学 医療政策人材養成講座 修了
- これまでの主な役職
- 国土交通委員長
- 沖縄及び北方問題に関する特別委員長
- 予算委員会 筆頭理事
- 外交防衛委員会 筆頭理事
- 弾劾裁判所裁判員
- 党 厚生労働部門長
- 党 憲法調査会長



NPOより三ツ星議員に選出(2019.11/2023..2)